

平成11年9月17日

たんぽぽ



1999年9月17日

第12号

通信

■発行 社会福祉法人 神東会
特別養護老人ホームたんぽぽ苑

岐阜県吉城郡神岡町大字東町690番地の1
TEL (0578) 2-6500 FAX (0578) 2-6531



たんぽぽ苑納涼祭にて

「介護保険に向けて」

いよいよ来年度から介護保険制度が始まります。では現在どんな準備作業がなされているか、お知らせしたいと思います。

吉城郡では、郡内町村が一緒になって広域連合として進められ、十月一日より要介護認定について受付を開始し、順次認定していくようになっていきます。要介護認定とは介護を要するお年寄りの状態から介護を必要とする程度を決めることをいい、この認定を受けて初めてサービスを受けられることになります。

八月二十四日各新聞紙面に介護報酬仮単価が掲載されましたが、自己負担額が正確に計算できるのは、介護報酬単価正式決定後の来年一月頃になる見込みです。仮単価が出されたことでたんぽぽ苑を含め各事業者などでは、早速事業開始に向けて準備を始めています。

このように、国や県、民間では介護保険制度に向けて順次準備が進んでいます。同じようにたんぽぽ苑でも、在宅福祉サービスの拠点としてさらに充実し、地域住民の高齢者福祉を支えるべく介護保険制度発足に向けて取り組んでいます。

たんぽぽ苑七夕祭り



平成十一年 七月七日 (水)
職員による寸劇、短冊の願
いごとを披露し、お茶と和菓
子を食べました。
七夕の歌や、神岡音頭をみ
んなで歌って、とても良い雰
囲気でした。

願いがかなうといいな

たんぽぽ苑納涼祭



平成十一年 八月八日 (土)
今年のバザーでは、新しく
『鮎の塩焼き』と『そうめん』
をだしました。評判はどうだ
ろう?といった職員の心配を
よそに、たくさんの方々に食
べていただきました。

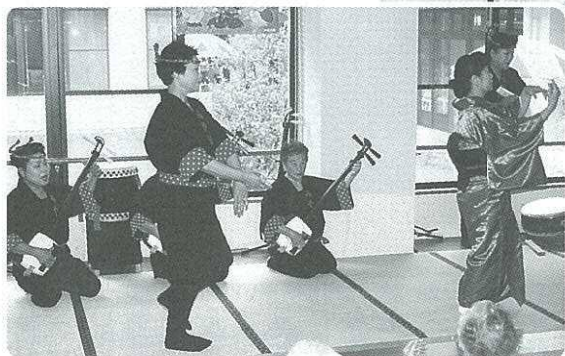
音頭に合わせて職員も
一緒に盆踊り、やはり
ボランティアの方々も踊
りにはかきません。
入所者の皆さんも楽しそ
うに見ていました。



ボランティア活動



六月二十七日 (日)
若菜会慰問(尺八、三味線他)



七月二十一日 (水)
雅会慰問

今回もたくさんのボランティアの方々にご協力頂きました。
毎回すべての方を紹介できないことが非常に残念ですが、少しでも多くボランティアの方々を紹介してい
きたいと思います。こういった、ボランティアの方々の善意なる活動によりたんぽぽ苑が支えられているこ
とを感謝し、皆様方のご支援にお応えできるように職員一同、力を合わせて頑張りますので今後ともよろし
くお願いします。

デイサービス・在宅介護支援センターのお知らせ

介護者教室

平成十一年七月二十四(土)
第二回目の介護者教室をたんぼほ苑2F会議室にて行いました。

第二回目のテーマは

『介護の疑問 『清拭編』』
としまして講義と実技を行いました。

午前の講義は『清拭の仕方』と題しましてデイサービス職員 二名の寮母により講義をしました。

午後の実技では、家族の方々に清拭の方法を紹介し、清拭することの大切さや重要性を知って頂きました。

これからも介護者教室を行いますので、多くの家族の方々に参加して頂き、家族の方々と一緒に職員も勉強していきたいと思えます。



介護者教室

デイサービス納涼祭

平成十一年八月一日(日)
から七日(土)までの一週間、デイサービス納涼祭を催しました。

納涼祭では、利用者と家族の方々に在宅とはまた違ったコミュニケーションを図って頂くことを目的としました。



デイサービス納涼祭

今年も多くのボランティアの方々にお手伝い頂き、バザーや盆踊りなど利用者の皆さんにもよるこんでもらいました。ボランティアの方々のご協力無しでは、このような納涼祭はなかなか出来ません。飛まわり会なずな会の方々本当にありがとうございます。

川西公民館婦人部主催 介護講座

平成十一年六月八日(火)

より川西公民館婦人部主催の介護講座が始まりました。普段、介護に関わる機会の少ない方、正しい介護がわからない方のために催された介護講座も既に四回終え、残すところあと一回となりました。これまでの内容を少し紹介したいと思います。

第一回は、杖、車椅子を使ったインスタントシニア体験
第二回は、車椅子とベッド間の移乗と座位について
第三回は、シーツ交換、衣類の着脱、オムツ交換
第四回は、老人の栄養と食事について行いました。
今回は、あと一回で終了しますが、これからも地域に根付くよう出張介護講座を多く実施していきたいと思えます。



介護講座

介護の相談なら

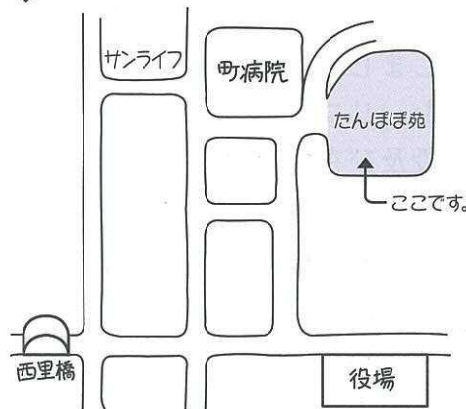
在宅介護支援センターへ

こんなとき

- 結婚式の間、おじいちゃんのお世話は?
- 家族だけではお風呂に入れられないんだけど?
- 誰か、オムツの替え方を教えてくれないかしら?
- 廊下に手すりをつけたいんだけど?
- 昼間お世話してくれるところはないかしら?
- ベッドが必要なんだけど?
- なにか良い寝巻きはないかしら?

などなど、どんな相談でも受け付けます。

相談は無料、秘密は厳守します。



☎ 2-6541

平成10年度 事業報告・収支決算報告

平成11年5月19日に行われた、社会福祉法人 神東会監事による監査を経て、5月25日に理事会が開催され、平成10年度の事業報告及び会計報告が承認されました。

事業の概況

急速に進む高齢化社会の中、神岡町も例外でなく高齢化率が27%を超え、すでに4人に1人は高齢者という時代に入っております。

こうした状況において、当法人が運営している特別養護老人ホームたんぽぽ苑は、入所定員50人を常に満たし、入所待ちが約30人もあるなどきびしい状況にあります。

また、短期入所については、1日平均約10人の利用者があり、今後利用者が増加するものと思われる。

施設を利用していただく方々に出来る限り快適で希望のある明るい生活が送れるように、毎月の行事の企画実施、生花や習字などのサークル活動の充実に力を入れている。また職員の資質向上のため各種研修会等には、出来るだけ参加し、専門性を身につけより良い処遇を行えるよう努めているところです。職員の資格取得にも積極的に取り組み介護福祉士4名、介護支援専門員2名が合格しております。

デイサービス事業、在宅介護支援センター及びホームヘルプサービス事業は、町の委託を受け行っております。

デイサービス事業は、平成10年4月からホリデイサービスを実施し、1日の平均利用人員が約15人で順調に利用者が増加しております。

在宅介護支援センターは、在宅介護の窓口として住民の相談に応じ、訪問活動を行うほか、福祉関係機関との連絡調整を図り、要介護者がサービスを受けられる環境づくりに努めてまいりました。

ホームヘルプサービス事業については、常勤のヘルパー1名で、神岡町社会福祉協議会のヘルパーと常に連携しヘルパー業務を進めてまいりました。

施設の整備は、介護保険施行に合わせて、事務の分化と適正化を図るべくコンピュータを導入いたしました。

また、リフトバス1台の購入と特殊浴室の暖房設備の改善等を行いました。

施設及び在宅福祉に対して多くの方々から各種の物品や金銭の寄付をいただいたり、定期的な訪問や行事、サークル活動のボランティアに多くの方々の協力をいただき入苑者や利用者が快適で潤いのある生活ができた事に感謝申し上げます。

また、施設見学や施設での実習、ワークキャンプなどの学生の福祉職場体験を受け入れ、地域に開かれた施設にして行きたいと思っております。

平成12年度から実施される介護保険については、国の方針が確定しない部分が多い中で、介護保険下における施設の対応について研修はありましたが事務的な準備は平成11年度に入ってからになりそうです。

平成11年 3月31日現在

単位:円

会計別	収支計算書 (平成10年4月1日～平成11年3月31日)			
	借方		貸方	
本 部 会 計	事務費支出	3,580,210	寄付金収入	3,098,405
	雑支出	201,100	繰入金収入	2,566,660
	積立金繰入	5,295,793	雑収入	3,842,134
	当期繰越金	430,096		
計		9,507,199		9,507,199
施 設 会 計	事務費支出	154,789,065	措置費収入	184,100,738
	事業費支出	58,913,305	補助金収入	26,915,393
	繰入金支出	2,550,000	寄付金収入	1,640,812
	当期繰越金	△2,515,871	雑収入	1,079,556
計		213,736,499		213,736,499
デ イ サ ー ビ ス 会 計	事務費支出	43,179,808	補助金収入	48,297,709
	事業費支出	5,242,901	寄付金収入	125,000
	繰入金支出	12,664	雑収入	12,664
計		48,435,373		48,435,373
在 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー 会 計	事務費支出	9,974,337	補助金収入	9,974,337
	繰入金支出	2,759	雑収入	2,759
計		9,977,096		9,977,096
ホ ー ム ヘ ル プ 会 計	事務費支出	3,947,924	補助金収入	3,947,924
	繰入金支出	1,237	雑収入	1,237
計		3,949,161		3,949,161
合計		285,605,328		285,605,328

「たんぼぼ苑」運営基金・物品篤志寄付

平成十一年六月から平成十一年九月までに次の方々から「たんぼぼ苑」へ多額のご寄付が寄せられました。寄付金は、たんぼぼ苑の大切な財源として、又、物品は入所者の方々に有効に使用させて頂きます。心からお礼申し上げます。

(敬称略)

《寄付金》

合計 六〇一、四五〇 円

- ▽萩ノ協喜一郎(大和) 篤志寄付
- ▽田之下政夫(東雲) 篤志寄付
- ▽大前一寿(旭川) 篤志寄付
- ▽大森旭道(本町二) 篤志寄付
- ▽森田博(朝浦) 篤志寄付
- ▽菊龍路彌二蝶會(坂富) 改田一美
- 募金活動金を篤志寄付
- ▽田口忠雄(旭川二) 篤志寄付
- ▽大井 浩(城ヶ丘) 篤志寄付
- ▽岩垣 竹造(坂富) 篤志寄付

《物品寄付》

- ▽尾家(宮ノ上杜宅) ▽三松ナツ(白山) ▽黒川修三(旭ヶ丘) ▽箕成幸一(野首) ▽大森旭道(本町) ▽和仁秀夫(弥生町) ▽三井康雄(灘見) ▽上義孝(上朝浦) ▽細田輝国(館野町) ▽横丁はる(江馬町) ▽丸亀(上今二) ▽松本太郎右工門(下山田) ▽本郷中学校 ▽青山和弘(千歳三)

新規職員インタビュー



- ① 名前 職種
- ② 趣味(マイブーム)
- ③ 好きな言葉
- ④ たんぼぼ苑に就職して
- ⑤

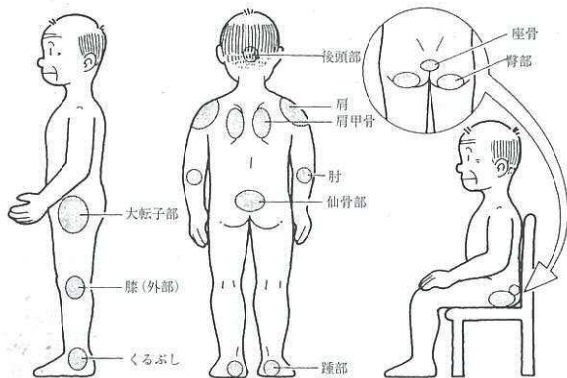
- ① 阪下友紀(さかした ゆき)
- ② デイ寮母(パート)
- ③ バンド
- ④ 愛情
- ⑤ 毎日が勉強で大変ですが、一生懸命頑張りたいと思います。

褥瘡を防ぐ

褥瘡(じょくそう)とは、体の出っばった(骨の突出した)部分に長時間の圧迫が加わり、血行に障害を起こして、皮膚の変化する状態をいいます。

- 進行の過程は
1. 赤くなる、腫れる
 2. ただれる
 3. びらん(分泌物がある)状態になる
 4. 組織がくずれ壊死を起こす

II 褥瘡がしやすい場所



III 褥瘡を予防する方法

- ◆同じ部位の圧迫・摩擦を防ぐ。
- ◆計画的に体位変換(1~2時間ごと)をします。また圧迫を弱くする(除圧)用具を用います。
- ◆全身用: エアーマット、ウォーターマット、無圧マット、ロックマット、離被架
- ◆局所用: ムートン、円座、ビーズパット、枕、クッション等
- ◆皮膚の清潔を保つため清拭・シャワー浴・入浴などをする。

I 褥瘡の原因

1. 栄養の障害(栄養状態が悪く、やせている)
2. 皮膚の不潔や湿潤(汗、排泄物で皮膚が汚れ湿っている)
3. 衣類、寝具の不潔や湿潤
4. 運動の障害(長時間同じ姿勢いるための圧迫)
5. 知覚の障害(圧迫、痛みがあっても感じない)
6. 循環の障害(心臓や腎臓の疾患によりむくんでいる)

よく乾燥させる。

- ◆寝衣・寝具は清潔で乾燥した物を用いて、しわをつくらないようにする。
- ◆殿部・仙骨部の褥瘡を防ぐためには、排泄のつど居所を清潔にする。
- ◆血行をよくするため、褥瘡がしやすい部位をマッサージする。
- ◆バランスのよい食事をとる。
- ◆褥瘡がしやすい部位を観察し、変化があれば直ちに対処する。

